

# なかがわ 議会だより

No 136

2021.4

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



## 主な 内容

- 第1回臨時会
- 第1回定例会【一般質問 3氏】
- 予算審査
- 議会日誌
- 編集後記

# 第一回臨時会

令和3年2月3日招集

令和3年第一回臨時会は、2月3日招集され、会期を1日と決し、条例7件、予算補正1件を議決し閉会しました。

## 議案審議結果

### 【条例改正】

- ▼中川町税条例の一部を改正する条例について
- ▼中川町手数料条例の一部を改正する条例について
- ▼中川町敬老祝い金条例の一部を改正する条例について

総務常任委員会審査報告

### 【原案可決】

- ▼中川町道路路占用料徴収条例の一部を改正する条例について
- ▼中川町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について

▼中川町農業集落排水施設管理条例の一部を改正する条例について

▼中川町合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

経済常任委員会審査報告

### 【原案可決】

### 【予算】

▼令和2年度中川町一般会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ2710万8千円を追加し、

予算総額をそれぞれ44億7606万4千円とする。

### 【原案可決】

補正内容は、新型コロナウイルス感染症対策による追加

## 質疑応答

▼令和2年度中川町一般会計予算補正

〔宿泊関連事業者経営継続助成金の対象事業者の選考について〕、飲食店経営維持奨励助成金の金額についての詳細を。

〔商工会と経営的な調査を行

った結果、地域開発振興公社のみへの支援となった。飲食店への助成についても、商工会と経営状況の調査を実施し、今後のコロナウイルスの影響も鑑み一律50万円とした。

## 討論

▼中川町敬老祝い金条例の一部を改正する条例について  
〔反対討論〕他に財政規律を見直さなければならぬ点があるにも関わらず、高齢者対応だけ改革する事は理解できない。  
〔賛成討論〕なし

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

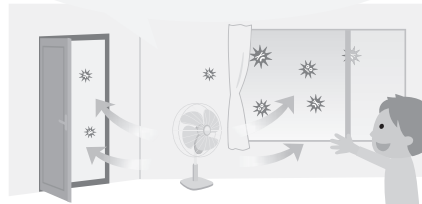
# 「密閉」「密集」「密接」しない!

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

他の人と  
十分な距離を取る!



窓やドアを開け  
こまめに換気を!



屋外でも密集するような  
運動は避けましょう!  
少人数の散歩や  
ジョギングなどは大丈夫

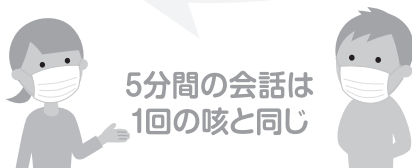


飲食店でも距離を取りましょう!

- ・多人数での会食は避ける
- ・隣と一つ飛ばしに座る
- ・互い違いに座る

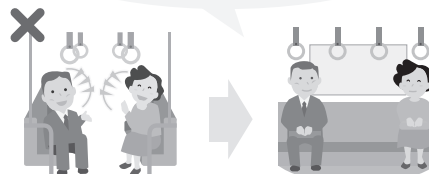


会話をするときは  
マスクをつけましょう!



5分間の会話は  
1回の咳と同じ

電車やエレベーターでは  
会話を慎みましょう!



首相官邸  
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚生労働省フリーダイヤル

厚労省 コロナ

検索

0120-565653



# ◆第1回定例会◆

令和3年第1回定例会は3月8日招集され、会期を17日までとし、町長の令和3年度町政執行方針、教育長の令和3年度教育行政執行方針が示され、一般質問3議員、諮問1件、条例等6件、予算15件、会議規則3件を議決し、閉会しました。



第1回定例会の様子

## 議案審議結果

### 【諮問】

▼人権擁護委員候補者の推薦

菊田 啓美 氏(再任)

【適任である」との意見を付し答申】

### 【条例制定】

▼中川町議会議員及び中川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

【原案可決】

公職選挙法の改正に伴い、選挙運動に要する費用の公費負担に関する事項を定めるもの。

### 【条例一部改正】

▼職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

国において、新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める政令が公布されたことに伴う特殊勤務手当の支給に関する改正。

▼中川町介護保険条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

第8期介護保険事業計画に基づき、第1号被保険者介護保険料の改定をするための改正。

▼中川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

厚生労働省の放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準が改正されたことに伴う、所要の改正。

### 【条例廃止】

▼中川町土地開発基金条例を廃止する条例について

【原案可決】

一定程度の公共施設の整備が完了し、土地価格も安定したため、先行取得の必要性も少なくなり、本基金の役割を終えたことによる廃止。

### 【議案】

▼町有財産の無償貸付について

【原案可決】

■無償貸付財産名：土地  
 ■貸付地：中川町字中川541番地1、541番地13  
 ■貸付の相手方：中川町字菅35番地 株式会社 中川砕石代表取締役 吉田 厚

■地目・面積：原野358,528㎡

■貸付期間：令和3年4月1日～令和6年3月31日

### 【予算】

▼令和2年度中川町一般会計

### 予算補正について

■歳入歳出総額に、それぞれ12億3280万9千円を追加し、予算総額をそれぞれ57億887万3千円とする。

【原案可決】

主な補正内容は、畜産クラスター施設整備事業費、地方創生推進交付金事業、新型コロナウイルス感染症予防対策設備改修工事などの追加。

▼令和2年度中川町国民健康保険特別会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ1349万8千円を減額し、予算総額をそれぞれ2億3276万9千円とする。

【原案可決】

主な補正内容は、一般被保険者の療養給付費及び高額療養費などの減額。

▼令和2年度中川町介護保険特別会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ839万7千円を減額し、予算総額をそれぞれ2億7315万3千円とする。

【原案可決】

主な補正内容は、地域密着型介護サービス給付費、施設介護サービス給付費などの減額。

▼令和2年度中川町後期高齢

者医療特別会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ24万8千円を減額し、予算総額をそれぞれ3554万7千円とする。【原案可決】

主な補正内容は、後期高齢者医療機器更新委託料、後期高齢者医療システム・運用サポート委託料の減額。

▼令和2年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ531万1千円を減額し、予算総額をそれぞれ2億7124万6千円とする。【原案可決】

主な補正内容は、決算見込み及び事業完了による減額。

▼令和2年度中川町農業集落排水事業特別会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ215万2千円を減額し、予算総額をそれぞれ1億653万9千円とする。【原案可決】

主な補正内容は、決算見込み及び事業完了による減額。

▼令和3年度中川町一般会計予算を定めることについて【原案可決】

▼令和3年度中川町国民健康保険特別会計予算を定めることについて【原案可決】

▼令和3年度中川町介護保険特別会計予算を定めることについて【原案可決】

▼令和3年度中川町後期高齢者医療特別会計予算を定めることについて【原案可決】

▼令和3年度中川町簡易水道事業特別会計予算を定めることについて【原案可決】

▼令和3年度中川町農業集落排水事業特別会計予算を定めることについて【原案可決】

▼令和3年度中川町一般会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ578万7千円を減額し、予算総額をそれぞれ39億2821万3千円とする。【原案可決】

主な補正内容は、高齢者ハイヤー利用支援委託、住民バス運行委託、健康づくり入浴料負担金などの減額。

▼令和2年度中川町一般会計予算補正について

■歳入歳出総額に、それぞれ100万円を追加し、予算総額をそれぞれ57億987万3千円とする。【原案可決】

千円とする。【原案可決】

主な補正内容は、福祉健康管理システム新型コロナ対応改修委託料の追加。

【会議規則に伴うもの】

▼閉会中の継続調査の申し出（総務常任委員会）

■事項

1 医療・福祉施設の運営について

2 住民交通機関対策について

3 地域教育力の向上について

4 総務常任委員会にかかわる施策について

期限  
令和3年第2回定例会まで【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（経済常任委員会）

■事項

1 産業振興対策の現況と今後の展開について

・ 農林業振興政策について

・ 有害鳥獣対策について

2 公共施設の今後のあり方について

3 経済常任委員会にかかわる施策について

期限  
令和3年第2回定例会まで【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（議会運営委員会）

■事項

1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

期限  
令和3年第2回定例会まで【継続調査決定】

## 質疑応答

▼職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について

問改正の適用日が施行日より遡及している理由は。

答国の技術的助言を参考に人事院原則の改正の施行日と同一にしたため。

▼中川町土地開発基金条例を廃止する条例について

問条例を廃止するに至った経緯。

答一定程度の公共事業の整備が完了し、土地価格も安定したため、先行取得の必要性も少なくなり、本基金の役割を終えたことによる廃止。

▼令和2年度中川町一般会計予算補正について

問学校の下校時間と通学路の除排雪の時間が重なっていたようだが、子ども達の安全を

考えた作業を行えないか。

答学校とも登下校に支障のないよう協議を進めてきている。作業時には安全に配慮し、十分な警備の配置により作業を行っていく。

問町内各所に堆積している雪の運搬を行う予定はあるのか。

答雪解けが進む中で、堆雪が支障となる場合は、例年通り排雪を行う。

問ふるさと納税と企業版ふるさと納税の2つが含まれた金額となっている。企業版については、3件で600万円増額補正を行ったが、ふるさと納税については、ほぼ同額の減額となった。要因は、返礼品について昨年春の山菜加工場の閉鎖等の影響により当初より大幅減収となった。

問企業版ふるさと納税について、どのような経緯で納付されたものか、そして企業名の公表は可能か。

答町と経済的つながりのある町内企業からの寄付金は受けられない。地域商社と東京世田谷サテライトスペースの地域創生推進事業計画について、個別にご理解をお願いしたい。企業名の公表は承諾を得ており、広報誌に掲載します。

# 令和3年度 町政執行方針について 農業の担い手対策 大胆な見直しが必要

**答** スマート農業技術の導入に向け関係機関と検討  
私がリーダーシップとなり持続可能な行財政を目指す



小川鉄吉 議員

町政執行方針の中で「健やかで安心な暮らしを実感できるまち」「活力ある経済と賑わいを実感できるまち」を掲げていますが、これまでのまちづくりの総括は見えてきていません。中川町の人口は過去5か年で約400人減であり、マチの活力の衰退は増すばかりであり「マチが消滅する」方向が加速しています。

石垣町長

1点目の「今日までの農業

証や、上川農業試験場が開発

振興の政策転換について」、野菜などの園芸分野を含めた畑作・園芸の振興については、令和2年度から「かぼちゃ」のブランド化を促進することを目的に、流通経費に対する助成を行っている。令和3年度は、甜菜の製糖過程で産出されるライムケーキについて、畑作、園芸農家にも対象を拡大し、酸性化しつつある農地のpH値を調整、土壌改良することに より良質な作物生産を実施したいと考えている。

本町においてもスマート農業の取組が重要であると認識している。特に集約型農業の典型である施設園芸については、ハウス内温度を調整するボイラーや側窓の自動巻き上げ機を設置。日照、かん水量、二酸化炭素濃度など、データ化された篤農家を持つ「匠の技術」を自動制御した技術の実

証や、上川農業試験場が開発した、フィルム被覆を多重に組み合わせ保温機能を強化し、葉物野菜等が無加温ハウスで周年生産可能な技術の実証など、関係機関との意見交換を深め、新たなプロジェクトの展開を検討していきたい。課題となっている畑作・園芸分野では、新規就農を促進するために、就農時の初期投資が比較的安価で設備投資可能な施設園芸の分野で進めることが、リスクが少ないものと考えている。

町としても、農業者はもとより、JA北はるか、及び農業改良普及センター等、関係機関の意見や要望を把握するとともに、スマート農業の推進に向けた取組を検討していきたい。

2点目の「行財政改革の強力な実施について」、行政と住民の皆様との関わりについては、令和3年度町政執行方針の、「基本目標5 協働と

信頼を実感できるまち」の中にある、協働のまちづくりが基本的な考え方であり、皆様のご意見を多様な機会をつくりお聞かせいただくことや、積極的な情報提供により、みんなで作るまちづくりを展開することが重要であると認識している。これまでも住民説明会やまちづくり懇談会、各種団体との意見交換や政策的な懇談など、様々な場面を通じてご意見を伺ってまいりましたが、今後も、住民の皆様との直接対話を重視すると共に、課題によってはまちづくり参加条例に基づく検討会、審議会などの手法を活用し、時代に即した施策や事業の見直し、更には新たな事業展開を進められるよう、組織の体制について適宜見直していきたい。

次に、財政改革の展望についてですが、歳入面は、人口減少による自主財源の減少に加え、一般会計歳入の約5割を占める地方交付税交付金も中長期的には維持できないものと考えている。歳出面では、労務単価の上昇や消費税増税、管理施設の老朽化に伴う維持費の増加、高齢比率の増による介護福祉費の増加など、財

政環境は一層厳しくなることは容易に推測されるため、地方自治体は一層の組織のスリム化とアウトソーシングの活用、公共施設の集約化と管理面積の縮小、行政事務のコスト削減と事業効果の検証によるスクラップアンドビルドの徹底など、効率化に向けた取組の加速化が求められると考える。

私のリーダーシップのもと、行政内での議論と議会や住民への協議を大切にし、持続可能な行財政の運営を目指してまいります。

**再質問** 農業に関する移住・定住の具体的取組を明確にすべきではないか？

**石垣町長** 第8次農業振興計画の中で具体化してまいります。

**再質問** 行政体質の改革・行政のチェック機能の弱体化について。

**石垣町長** 情報共有の改善が不足していることについて住民本位を基本として見直しをしてまいります。

1 今日までの農業振興の政策展開について  
畑作振興のためのプロジェクトの創出について  
担い手対策の大胆な見直しについて  
2 行財政改革の強力な実施について  
現状組織のあり方について（住民主体の改革）  
本町の財政改革の展望について

2点目の「行財政改革の強力な実施について」、行政と住民の皆様との関わりについては、令和3年度町政執行方針の、「基本目標5 協働と

信頼を実感できるまち」の中にある、協働のまちづくりが基本的な考え方であり、皆様のご意見を多様な機会をつくりお聞かせいただくことや、積極的な情報提供により、みんなで作るまちづくりを展開することが重要であると認識している。これまでも住民説明会やまちづくり懇談会、各種団体との意見交換や政策的な懇談など、様々な場面を通じてご意見を伺ってまいりましたが、今後も、住民の皆様との直接対話を重視すると共に、課題によってはまちづくり参加条例に基づく検討会、審議会などの手法を活用し、時代に即した施策や事業の見直し、更には新たな事業展開を進められるよう、組織の体制について適宜見直していきたい。

# 福祉政策の取組みについて

## 答 地域交通のあり方を検討し 利用しやすく利用率の高い運行を構築する



小池 豊 議員

石垣町長は、2年前にま

ちづくりの想い「子供から  
お年寄りまで安心して暮ら  
せるまちづくり」の公約が  
町民の賛同を得られたと思  
います。令和3年度は、町  
政を担って2年が経過し、  
折り返しの2年間の始まり  
です。石垣町長には、町民  
のための施策を具体的に実  
行し、町民の期待を裏切ら  
ないまちづくりに取り組む  
ことを望みます。

3 利用者が少なかった住  
民サービスは、住民に丁寧  
な説明と理解を得て見直し、  
時勢に合った福祉施策の財  
源について。

### 石垣町長

1 点目・2点目について、  
昨年9月に65歳以上の49  
7名の対象者に生活全般と  
自由記載のアンケート調査  
を実施し324名(回収率  
67.6%)回収があり、様  
々な意見を伺っています。

毎月開催の地域ケア会議  
で情報共有と課題解決に取  
り組んでいます。また、日  
常の困りごとや心配事に対  
し積極的な関わりに努め、  
必要度合いに応じ対応する  
考えです。

3点目について、利用の  
少ない住民サービスのうち  
住民バスについては令和3  
年度においては土曜日を運  
休し、車両の更新時期を迎  
える令和4年度に向け、住

2 高齢者から町政に対し、  
ご不満があるのか無いのか、  
その実態把握について。

3点目について、利用の  
少ない住民サービスのうち  
住民バスについては令和3  
年度においては土曜日を運  
休し、車両の更新時期を迎  
える令和4年度に向け、住

再質問  
自力で生活が困難で介護  
サービスを利用している人  
数とその対応は。

### 住民課長

110名が介護サービス  
を利用しています。

### 再質問

高齢者の住民サービスに  
係る年齢の引上げや廃止す  
ることだけでなく、将来に  
向けて何か新しく取り組み  
考えはあるのか。

### 石垣町長

高齢者のみならず、住民  
サービスの見直しに取り組  
んできた。本町の冬季間の  
除雪は、高齢者にとっても  
非常に困難であるので、そ  
の取り組みを検討した。

### 再質問

町政への不満の実態把握  
と、それらの意見と予算へ  
の反映について。

### 石垣町長

住民全般の括りで、町長  
への手紙、住民説明会など  
で意見や要望等を確認して  
いる。住民、自治会・町内  
会、議会からも情報提供を

頂ければ有難い。

### 再質問

高齢者の皆様が不安とな  
らないために、行政から出  
向いて意見を聞き取り、安  
心して暮らせるまちづくりに  
努めていただきたい。

### 石垣町長

高齢者福祉対策には丁寧  
な対応をするよう取り組ん  
でいきます。



2月10日(水) 住民説明会の様子

問 新型コロナウイルス感染症  
対策について

答 ワクチン接種までの流れ  
わかりやすく、速やかに情報発信

ウィズコロナ時代を見据えて十分な対策を講じていく必要があると考え、つぎの項目について質問します。

ホームページから情報発信することで準備を進めており、診療所と連携を図りながら速やかな情報配信に努めます。

一、経済対策について  
本町もこれまでに様々な対策を行ってきたが、直接的、間接的に影響を受けている事業者の支援をどのように考えているのか。

石垣町長  
国や道の動向を注視しながら、商工会と連携して各事業者の経営状況を把握し、大きな影響が生じていると判断される場合には、適時的確に支援のための補正予算を検討したい。

三、コロナ禍での避難所運営について  
先日、1時間以上に渡る停電があり、コロナ禍での避難所運営について密にならない対策が必要と考えるが。

石垣町長  
国の通知やガイドラインを基本とし、災害時に備えた準備を更に進めます。

二、ワクチン接種について  
スケジュールや接種方法等を積極的に情報発信するべきと考えるが。

石垣町長  
5月中旬接種開始に向け協議を進めています。65歳以上の方には個人通知、広報紙、



問 本町のふるさと納税について

答 中川町産牛肉商品開発協議会を  
設立し新たな商品開発を進める

先日の新聞報道によると、本町のふるさと納税は低調のように見受けられます。一方で、好調な自治体では、昨今の情勢により自宅で過ごされる方向けの、インターネットを活用した利用が増えていると聞きます。

これらの現状から、つぎの項目について質問します。

一、寄付額等について

本事業の年度別納税額と件数、前年度比率、返礼品数を教えてください。

石垣町長

H28 414件 6,235千円。対前年度比 474.1%。H29 279件 6,801千円、対前年度比 109.1%。H30 271件 5,720千円、対前年度比 84.1%。R1 223件 6,330千円、対前年度比 110.7%。

令和2年度は、大きく低下していますが、農産物加工等製造法人の事業停止、クラブ

ト作家の制作休止など、返礼品の種類が減少したことが影響したものと考えます。返礼品の種類は平成28年度に14種類で事業を開始し、現在は18種類となっています。

二、返礼品の開発について

小規模事業者が多い本町では、開発に行政が携わることが必要ではないか。また、特徴的な体験返礼品を開発できないか。

石垣町長

これまで、商工会を中心に「ナカガワのナカガワ」ブランドニングの取組を町として支援し、企業振興促進、商業活性化推進の施策をもちまして、製造業の支援を行い一定の成果があったと認識しています。現在は地域商社設立準備室において新たな商品開発を検討し、また牛肉商品開発協議会を設立し、商品化を取り組んでいるところです。

体験型の返礼品についても検討を進めます。



佐々木英和 議員

三、寄付の受付・返礼品の発送等の事務について  
商品の開発、寄付の受付、ホームページサイト等の管理などを専門的な企業へ委託するお考えはないか。

石垣町長

これまでに委託検討をしてきましたが、寄付額の推移から経費に限界があり、業務委託が難しいという認識ですが、引き続き検討します。

四、今後の展開について

総額数億円の寄付金を受ける自治体もありますが、年度単位で目標設定し、歳入増に繋げてはどうか。

石垣町長

人気の高い返礼品は米、肉、魚介類で、寄付額の大半を占めるようです。中川町産牛肉商品開発協議会を通じた生産・流通・商品開発をすすめるとともに、事業者登録説明会及び相談会を開催し、返礼品の増加に努めます。

# 令和3年度 一般会計 5特別会計 予算審議

3月15日から17日の3日間にわたり令和3年度に係る予算審議を行い、原案のとおり可決すべきと決定。

## 一般会計・特別会計

区分	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	増減額
一般会計	39億3400万0千円	39億6200万0千円	△2800万0千円
国民健康保険	2億4004万3千円	2億6437万5千円	△2433万2千円
介護保険	2億7741万3千円	2億6163万9千円	1577万4千円
後期高齢者医療	3304万0千円	3330万2千円	△26万2千円
簡易水道事業	2億5999万3千円	2億7651万6千円	△1652万3千円
農業集落排水事業	1億0994万7千円	1億0868万6千円	126万1千円
合計	48億5443万6千円	49億0651万8千円	△5208万2千円

### 主な質問事項

3月15日から17日までの3日間、令和3年度一般会計ほか5特別会計歳入歳出予算について、審議を行いました。いずれも原案のとおり可決すべきものと決定されました。以下、審議の際に行われた主な質疑を掲載致します。

#### 歳入全般（一般会計・特別会計）

問令和3年度環境性能割交付金が前年度比600万円減となっている説明をお願いしたい。

答環境性能割交付金は北海道の税収となる。その内100分の47が各市町村の道路延長や面積に応じて配分される。令和2年度の実績額は約400万円と推測されるので、令和3年度予算についても同額の予算計上とした。

問各自動車メーカーでは電気自動車を将来の主流としているが、中川町民の意識もそういう車種を選ぶ流れとみているのか。

答全国的に通常のガソリン車から電気自動車・ハイブリッド車への移行が進んでいる。地方財政計画を参考にしながら歳入の計上をしている。

問町公用車の購入計画はどう考えているのか。

答電気自動車やハイブリッド車の導入について、前向きに検討していく考えです。

問公営住宅入居率について知りたい。

答本年2月末現在、管理戸数192戸の内空き家42戸で入居率78.13%。特公賃管理戸数17戸の内空き家が3戸で入居率82.35%。グリーンシャトー191は管理戸数13戸の内空き家が4戸で入居率69.23%。グリーンシャトー92は管理戸数18戸の内空き家が2戸で入居率88.89%。以上合計すると240戸に対し51戸の空き家で78.75%の入居率です。

問教育使用料について、前年度と同額予算計上しているが、体育施設等の使用料を見直す考えはあるのか。

答教育委員会で、受益者負担がどうあるべきか見直しを検討している。

問市町村振興宝くじ収益交付金の申請対象事業は何か。

答使途内容は一定程度決められており、本町は文化振興事業の活用として毎年報告をしている。具体的にはエココミュニケーションセンター運営費に100%充当している。

問生産物売払い収入について令和3年度は0円となっているが、その処理についての説明を。

答平成29年度産デントコインの代金を農業振興公社から3年間の分割で収入しており、令和2年度で完了したため。

問介護保険特別会計の保険料について、先の議会で保険料の改定がなされたが、それを反映した数値なのか。

答第8期の事業計画の算定をもって予算額を計上している。

問中川町民が他の自治体へふるさと納税を行った場合の影響額は。

答令和2年度課税分は8件257万6千円で、その内町民税96万7千円が影響額です。

#### 総務課関係（歳出）

問予算書の工事請負費等の個別金額を記載しない理由は。

答工事請負費・委託料・備品購入費については、入札や見積もり合わせを行うため、個別金額の掲載は以前よりしていない。随意契約などの場合、懸念もあるが、近年の情報の透明性等という点から、記載方法について議会と協議したい。



問JR佐久駅・歌内駅について、この一年間の利用状況と今後の展開について。

答自治会町内会の意見を伺い、令和3年度は両駅とも存続としたが、特に歌内駅は年間利用者が一桁という状況。地域の公共交通との連動性が構築できた際には、廃止させていただきます。住民バスとハイヤー事業の活用も含め、歌内駅廃駅後の歌内国府地区の公共交通を構築したい。佐久駅については当面維持していく考え。



廃止される可能性がある歌内駅

問今後の公共交通のあり方について、意思表示だけでも結構なので考え方を聞きたい。

答駅というのはそこに住む方々の様々な想いがあり、提案を受けて一年後に廃止というのは難しいと考えていた。しかしながら現状と町の財政を考えた場合、今よりも良いサービスが提供できる可能性もあるということも踏まえ、部内や地域と協議・検討を進めたい。

問住まいの安心応援助成事業

の令和2年度実績と3年度の予算内訳について。

答令和2年度実績は新築0件、リフォーム5件で150万円。令和3年度新築4件400万円、リフォーム20件600万円を予算化している。

### 住民課関係(歳出)

問修学資金貸付金と看護師就業支度金貸付金の予算内訳は。

答修学資金貸付金は1名分の12か月分の60万円。看護師就業支度金貸付金は1名100万円を2名分の予算です。

問貸付金制度の利用状況と本町での就業状況について。

答外国人介護人材育成支援事業では、令和4年度に1名、令和5年度も1名が就業見込み。

修学資金貸付金は介護福祉士1名に貸付中で、近年は介護福祉士2名が確保されている。看護師就業支度金貸付金は、6名の方が看護師として就業されている。

就業状況については、修学資金貸付金の介護福祉士2名の内1名は一心苑に勤務され、もう1名も令和4年度一心苑に勤務予定。看護師就業支度金貸付金の6名の内5名は退職されていて、1名は現在中川診療所で看護師として勤務

されている。

問中川診療所の看護師不足をどう乗り越えるのか。

答派遣公募しているが就労に至らず、入院病棟一時休止の状態が継続している。できれば派遣体制より常勤で地元根付いたスタッフを求めたい。樫会と協議をしながらハローワークや民間求人等に掲載し一刻も早く人員確保に努めたい。

問住民説明会で住民バスを残すべくという要望はなかったのか？

答利用の少ない土曜日を運休したいという提案に賛否はなかった。令和4年度に向け、地域の実情にマッチした公共交通機関のあり方を検討していきたい。

問過疎地域において、住民の足を守るための公共交通手段の確保は、町として重大な課題であると思うが。

答JRが今後10年間、国の公的支援を受けられることになったのは、宗谷本線の存続に大きな影響を与える支援だと思ふ。今コロナ禍で赤字が増大している中で、今後列車の運行本数が劇的に変わる可能性がある。一概に乗車率にこだわるような考え方を控え、

中長期的な視点で検討を進めたい。

問介護保険について、加入者総数は何名か。

答65歳以上の第1号保険者数575名で算定した結果が第8期の介護保険料となっている。

問介護保険料と施設入所関係について、その解釈と今後の推移についての展望を聞きたい。

答一心苑は他の市町村の利用者も含め約40名入居している。介護老人保健施設が1名で全体施設入所者は41名。グループホームは9名で満床。他市町村の方2名を加えると11名の利用がある。600名を切る第1号被保険者数の中、施設入所者は年々若干の増加傾向にあります。平成12年から介護保険制度がスタートし、大体要介護認定者数は、100名前後と横ばいだが、在宅介護より施設系入所が多くなっているため、若干介護保険料が上がる状況になっている。また、一心苑が建築されて約40年が経過します。耐久を考えると、6年後を目安に建て替えの論議が必要となります。第8期は議論の期間とし、第9期介護保険事業計画については、場所や定員も含めた

実際の特養の施設のあり方、及びグループホームのワンユニットの部分も総合的に判断をしながら、施設全体の定員数の増えた部分の年次計画を施行したいと考えている。施設入所が増え、第1号の高齢者が減っているという部分で、介護給付費が伸びる状況にあるが、負担を求めながら保険料設定せざるを得ないのが現状です。

介護保険料の算定については、一般財源を投入できないシステムになっている。あくまでも保険料でカバーするというルールがあります。3年間の給付を見込みながら、その50%のうち半分は公費、もう半分は保険料というルールがあります。その内の23%については第1号の保険料で賄いなさいというルールがあります。

また、住民周知方法については、当初予算議決いただいた後、広報及び第8期の介護保険事業計画のダイジェスト版を全戸配布したいと考えている。ま

また、住民周知方法については、当初予算議決いただいた後、広報及び第8期の介護保険事業計画のダイジェスト版を全戸配布したいと考えている。ま



満床となっているグループホーム

た、令和3年度介護保険料の賦課期日が、7月1日なので、介護保険料通知とともにその説明も同封したいと考えている。

問訪問看護の利用状況は。

答美深厚生病院の訪問看護ステーションが本部で、本町はサテライトとなっており、臨時看護師1名が対応しています。実質月5人から6人の方に対し年間延べ2000から3000人の間をここ3年ほど推移しています。

問町立診療所の指定管理委託料が令和3年度7400万で前年と比べ600万程度増になっている。昨年途中から看護師不足で入院も受けていないも見通しすら立っていない中で、この金額は非常に問題があると思う。経営改善や医師確保に向けた過ちがあるのでは。

答ご承知のとおり診療所のあり方や運営については過去より色々ありました。前医師時代の金額とか、経緯から比較論をされていますが、その時医師が体調を崩されたとか、代替医師の確保が出来ていないとか、看護師の確保も進まないといった形で、単純にその一番最初の金額等に合わせ

た部分でこれ以上の支援をする体制が出来なかったという事がありました。議会におきましても、これではなかなか医師の体力的なものも踏まえ、年間を通しての運営をするのが不可能ではないかという形で、施設管理の内容として、代替医師の確保であるとか、病院運営としての人的確保を見直さなくてはならないという意見交換を踏まえ、値上げをしてきたという経緯があります。地元の病院機能を満足させるためには、いち早く入院機能を充実させることと、協議を積極的に進めているところでありますので、ご理解願いたいと思います。

問令和元年度と令和2年度の中川診療所の受診人数は？

答令和元年度入院総数は575名、外来総数が1万704名です。令和2年度は2月分までですが入院総数が664人、外来総数が8394名です。

問君の椅子事業について、全道179市町村の中でたった9町村の事業。事業効率として疑問に思う点がある。お金と事業効率という点も含めて検討してもらいたい。

答本プロジェクトに加入した大きな動機は、地元産材を使

えるという優位性にあったという事。しかし、君の椅子の制作に関わる方たちと協議をした中で、どう考えても中川町産材のミズナラのみをもつてプロジェクトに協力していくという事は、町として相当な経費的負担が掛かる状況になる。従って、中川町産材を少なくとも定期的に提供するという事は不可能であり、椅子の後ろに中川町の名前が入るといふ事にはならないという事についてはご報告を申し上げます。

一定程度色々なサービスの見直しという観点から、本事業も題材に挙げた中で、住民の皆様、特に若い方達がどのような感覚をお持ちなのか聴取させていただき、当然現時点では事業を継続するわけですから、私としては肯定的に説明を繰り返し、そこに対して一定程度経費に対する価値観を中川町の若い世代と余り共感できないとか、感じないという事であれば、残念ながら脱会するという方向で検討協議していきたいと考えています。

### 産業振興課関係(歳出)

問地域商社の準備は順調か。

答地域商社の設立の検討については、民間主導で地域商社

準備室が主体となり令和4年度中の設立に向け鋭意検討している。

問農畜産物の特産品開発は、どのように進めるのか。

答生産者、農協、商工会等で協議会を作り、中川町産の牛肉を商品化できないか検討を進めている。将来的には地域商社主導のもと商品開発をしていく形になると思われる。

問サテライトスペースの改修内容は。

答サテライトスペースは商品販売のみを目的とした施設ではない事から、商品陳列スペースに加え、多少の滞在ができるスペースを設けるなどの改修を行っている。



改装して新しくなったサテライトスペース

問地域商社に関する研修会は、一般市民の参加はできるのか。

答関係者を対象とした研修会を想定しているが、事業の進捗等については報告会などを開きたい。

問移住住宅管理運営改善計画の策定として、民間賃貸住宅建設支援とあるが、実際には民間からの希望はあるのか。

答移住者の選択肢として、新しい住宅も提示できることが重要な事だと考えている。町の補助制度を活用し実施したいという話は一部から聞いている。

問畜産クラスター施設整備補助の1億700万の根拠が知りたい。

答予算査定時の事業費における国費補助金の10%の額という事で算定している。

問1億円という支援は、町長としてどのような思いなのか。

答今般の畜産クラスター施設整備事業は、国費補助対象外も含め総事業費で30億円を超える規模になる。農業を振興するという理念に基づき支援したい。更に、事業が進む中で一定程度の支援が必要となり、その支援に合理性があると判断される場合は支援していきたい。

本事業の重要性と経済的波及効果をもたらす事業であること。酪農業は成長産業であることがひとつの動機です。

乳価は比較的安定しており、従業員が予定どおりそろい、牛も予定どおりそろえば一定程度収入が見込まれます。従って、当然法人事業者として、あるいはそれを見守る住民の皆様や行政が、こういったところをどういう形で応援した

らよいか、そういったところが課題として非常に見やすい産業構造でありますので、一定程度の支援を行って事業が安定して行われるよう配慮したい考え。

問新規就農事業は予定通り進んでいるのか。

答残念ながら昨年11月末、1名が離町しましたが、4月1日から1名が研修を開始する予定となっておりますので、予定どおり進んでいます。

問UIJターン新規就業支援事業支援金について、この2年間の実績が知りたい。

答過去実績がない状況だが、令和2年度に実施した緊急雇用対策事業については、1名の該当があった。

問ポンピラアクアリング指定管理委託料の積算根拠を変更した理由を知りたい。

答昨年度より重油代等が安くなっている部分の見直し。また、指定管理協定でパート清掃員を5名配置しているところ、昨年まで3名の積算となっていたため見直した。また、健康づくり事業補助金を指定管理料から減額していた部分も見直している。更に、昨今の働き方改革による労働環境

に注視し、これまで積算根拠に算入していなかった副支配人の人件費の20%分を見直しました。

問基本構想策定業務委託について、令和3年度中に今後の温泉のあり方について計画したいということか。

答これまでも今後の温泉施設のあり方について、令和4年度までには実施設計まで組めるような形に持っていきたいと説明させていただいており、温泉のあり方について種々検討されております。更に多くの意見をまとめながら、新年度においてこの基本構想策定業務委託の中で、最終判断できる資料を作成したいと考えています。

問老朽化によりログハウスを撤解体するという事だが、下の炭焼きコーナーや炊事場等はどうするのか。

答今後の公園の方向性も検討しながら、解体業者ともあらためて検討したい。



解体が決定しているログハウス

### 環境整備課関係(歳出)

問除雪車両のバックモニター購入について、所有除雪車両全てに搭載するのか。

答国・道では使用するロータリー車にバックモニターを搭載しており、本町においても安全確保の観点から大型ロータリーと小型ロータリーの2台に搭載したい。

問公営住宅空き家除雪委託について、今後も続けていくつもりなのか。

答空き家が点在している状況であり、入居しているところだけ除雪を依頼する事はできないので、空き家分の費用は町で負担している。

### 教育委員会関係(歳出)

問中川村交流事業派遣事業について、昨年コロナの影響で実施出来なかったため、今年度は中学2年生と3年生が一緒に行くことになるのか。

答昨年行けなかった3年生に行くチャンスを作りたいので、第一案として3年生は8月の夏休み明けに行く。第2案として2年生と同時期の10月に行くことも検討しています。ただし、非効率ではあります。が、教育効果を優先に考え、

一緒に行くという事は想定していません。

問体育施設費の修繕費260万円の説明をください。

答スキー場圧雪車修繕、スキー場関係施設の小破修繕、軽トラックの小破修繕、プール関係の小破修繕、パークゴルフ場機械設備修繕で100万円の見積もりを見ている。

問スポーツ少年団本部に加盟している少年団を教えてください。

答現在は、剣道、柔道、スキー、野球の4団体です。

問現在の小中学校の児童生徒数と今後の推移について。

答令和2年度は、小学校63名、中学校18名。令和3年度は小学校65名、中学校23名。令和4年度は小学校66名、中学校25名。令和5年度は小学校63名、中学校29名。令和6年度は小学校60名、中学校34名。

問学校施設長寿命化計画も加味したこれからの学校施設あり方と教育行政についてどう考えているのか。

答児童生徒数は、ここ5〜6年先は小学校が60名程度で中学校が30名前後で推移する見通しで、その先も毎年10名前後の入学がある見通しです。

町内に高校が無いため、それまでにしつかりと学力を身につけ外に出ていける子供たちを育てるために、9年間でしつかりと子供を育てる責務が学校にあり、地域にもあると考えている。将来的には、法改正によって新しくできた義務教育学校という小中一体となつた学校も制度的に創設されているので、それらの教育効果について調査・研究を進め、将来のあるべき小中学校の姿を描きながら、より良い教育環境の整備に向かっていきたい。

問予算書の工事請負費、委託料、備品購入費について、各事業ごとの金額をなぜ入れられないのか。

答自治体によってやり方は種々あるかと思うが、本町においては従来よりこういった記載により審議に付し、弊害もなかった。ただ、昨今の情報公開や情報の透明性という観点から、ご指摘に係る機運は当然高まってくると思う。随意契約によるものや、指名競争入札を採用しているものなどあるが、来年度以降については、差し支えないものについては記載できないか、議会とも相談したい。

# 議会日誌

## 1月

28日 第1回全員協議会

## 2月

3日 第1回議会運営委員会

〃 第2回全員協議会

〃 第1回臨時会

9日 上川町村議会議長会定期総会【旭川市】

18日 北海道町村議会議長会理事會・公務災害議事会【札幌市】

24日 第3回全員協議会

25日 西天北五町衛生施設組合第1回定例会【幌延町】

## 3月

1日 第4回全員協議会

〃 第2回議会運営委員会

5日 第3回議会運営委員会

8日 第5回全員協議会

〃 第1回定例会（議案審議）

11日 第1回定例会（一般質問）

15日～17日

予算審査

〃 第6回全員協議会

29日 議会モニター意見交換

## 4月

16日 第7回全員協議会

26日 上川北部消防事務組合議会第1回定例会【名寄市】



天塩川春・発信inながわ解氷クイズ  
解氷時刻 3月20日（土）午後2時21分

## 中川町議会モニターを募集しています

町議会の円滑で民主的な議会運営を推進するため、町民からの要望や提言及び意見等を広くお聞きし、今後の議会運営に反映していく目的で「町議会モニター」を設置しています。

町議会の仕組みや運営に関心があり、町行政及び地域社会の発展に関心のある方のご応募をお待ちしております。

### ■応募条件（若干名）

- ・ 満18歳以上の町民で、公務員、各種行政委員でない方
  - ・ 町議会のしくみや運営に関心がある方
  - ・ 町政及び地域社会の発展に関心のある方
- 任期**
- ・ 着任の日から2年とし、再任は妨げない
- 職務の内容**
- ・ 年4回開催の定例会に出席し、その意見を文書等により提出
  - ・ 「議会だより」に関する意見を文書等により提出

詳しくは議会事務局 ☎ 7・2944までお問い合わせください。

## 編集後記

今年は何年ぶりの大雪に見舞われた中川町にもようやく春の訪れが近づいてきました。新型コロナウイルスによる感染拡大が未だ続いています。社会生活に不安が拭いきれない毎日ですが、皆様の行動自粛などにより北海道内の感染者の増加数は停滞し、今後のワクチン接種に期待していると看做します。

さて、「議会だより」も今回で136号の発行となります。紙面づくりには編集経験の少ない議員同士が、町民の皆様にご読んで分かりやすい表現を心掛け、取り組んでいます。

紙面だけでは伝わらない所も沢山ありますので、是非とも議会を傍聴されてはいかがでしょう。か。（英責）

### 議会広報特別委員会

委員長 佐々木 英 和  
委員 小池 豊

